

令和6年度 学校評価報告書

豊山中学校

1 今年度の評価のまとめ

1 教職員	○令和6年10月 アンケート形式で実施。 ○本年度の学習指導や生徒指導等、教育活動全般について評価し、次年度の教育活動の改善に生かしていく目的で実施。 ○学校経営方針、学習指導、生徒指導、教育目標、安全教育、情報提供、いじめ対策、保護者との連携、家庭・地域に根ざした学校づくりなど9項目についてアンケートをとった。 ○「生徒の実態や特色を生かした教育活動を行っている」という項目に肯定的に回答した教職員が97.2%となり、昨年度と同様に高い結果となった。特に「そう思う」と回答した19.1%上昇した。生徒も「学校で行われるいろいろな行事は楽しく参加している」という項目で肯定的な回答が97.8%であり、新生徒、教職員ともに有意義な教育活動が行えていると考える。 ○「先生や地域の方にあいさつや会釈をするよう指導し、挨拶の習慣化を図っている」という項目に肯定的に回答した教職員が97.1%となり、昨年度より11.4%上昇した。今後も、教職員があいさつの手本を示すとともに、生徒が適切にあいさつを行えた場面で賞賛していく。 ○「生徒のことにについて適宜家庭と連絡・相談を行い、良好な信頼関係ができています」という項目において、肯定的に回答した教職員は100%であった。また、「保護者との連携や地域の期待に応えていこうと努力している」という項目で肯定的に回答した教職員が94.3%となり、昨年度を上回った。これは、教職員がこまめに保護者と電話などで連絡を取り合ったり家庭訪問したりするなど、信頼関係づくりに努めた結果であると考えられる。
2 生徒	○令和6年10月 アンケート形式で実施。(タブレット端末を利用) ○学校生活全般にわたって取組状況を集約し、次年度の教育活動の改善に生かしていく目的で実施。 ○学校経営方針、学習指導、生徒指導、教育目標、安全教育、いじめ対策等の7項目についてアンケートをとった。 ○「学校で行われるいろいろな行事は楽しく参加している」という項目で肯定的な回答が97.8%と非常に高く、昨年度と同様に非常に高い値になった。これは、生徒が行事を含めた学校生活を楽しんでいる結果と考える。 ○「授業に一生懸命取り組んでいる」という項目で肯定的な回答が94.4%と昨年度と同様に非常に高い値になった。これは、教職員が「主体的に学習に取り組むことのできる生徒の育成」を目標に、ねらいと発問を意識した授業実践に取り組んだ成果であると考ええる。また、タブレット端末を利用するなど工夫して授業を行ったことにより、どの生徒も主体的に授業に参加し「できた」という自己有用感を感じることができている結果であると考ええる。 ○「学校生活の中で友達と協力し合い、思いやりをもって接している」という項目に肯定的に回答が97.3%と非常に高い結果となった。また、「友達や先生、地域の人に挨拶をしている」という項目でも肯定的な回答が94.1%となり、昨年度より上回った。今後も、道徳や学級活動、学校教育全般において豊かな心を育む教育を心がけていきたいと考える。 ○「いじめや悩みごとがあったとき先生は真剣に話を聞いてくれる」という項目において肯定的な回答が93.5%と昨年度を上回った。「毎日の記録」での担任とのやりとりや、いじめアンケートの実施、教育相談での聴き取りを充実させている成果だと考える。引き続き、生徒との信頼関係を築いていく努力をしていきたい。

3 保護者	○令和6年10月 アンケート形式で実施。(インターネットを利用) ○本年度の学習指導や生徒指導等、教育活動全般について保護者の視点による評価を把握し、次年度の教育活動の改善に生かしていく目的で実施。 ○学校経営方針、学習指導、生徒指導、教育目標、安全教育、情報提供、いじめ対策、保護者との連携、家庭・地域に根ざした学校づくりなど9項目についてアンケートをとった。 ○「学校は行事や総合的な学習を通して、生徒に表現力を身に付けさせ主体的に行動できる生徒を育てるように指導している」という項目では、肯定的な回答が84.4%と高く、昨年度を上回る結果となった。これは、生徒が行事を含めた学校生活を楽しんでおり、保護者もその様子を子どもとの会話や子どもの雰囲気から感じ取っている結果と考える。 ○「学校は確かな学力を身に付けさせるために授業や指導の工夫を行っている」という項目では、肯定的な回答が63.8%であった。これは昨年度より15.9%低下した。教師アンケートの「生徒が意欲的に取り組み、わかりやすく工夫された授業を実施し、学力向上に努めている」という項目では、肯定的な回答が97.1%と昨年度より8.5%上昇しているが、まだまだ改善すべき点があるのだと痛感している。今後は、さらに教職員が主体的に学習に取り組むことのできる生徒の育成を目標に、ねらいと発問を意識した授業実践に取り組んでいく必要があると考える。 ○「豊山中学校の生徒は挨拶がよくできる」の項目の肯定的な評価が前年度より7.4%低下した。しかし生徒アンケートでは「友達や先生、地域の人に挨拶をしている」という項目で肯定的な回答が94.1%と高い水準を維持している。今後は、校内のみではなく、地域や公共の場でも豊中生らしく元気な挨拶ができるよう支援していきたい。 ○「学校は、いじめの早期発見、早期解決に努めている」という項目では、肯定的な回答が65.1%であり、昨年度より1.8%低下した。しかし、生徒のアンケートでは「いじめや悩みごとがあったとき、先生は真剣に話をきいてくれる」という設問に対し、肯定的な回答が93.5%であり、昨年度より上回る結果となった。この2つの結果から学校全体のいじめ対策の取組に関する情報公開を高める必要性を感じる。同時に、より一層のいじめに対する早期解決に教職員全体で取り組んでいく必要があると考える。 ○「子どものことについて、担任や学校に安心して気軽に相談できる」という項目に対しては、肯定的な回答は昨年度より1.1%低下した。また、「保護者の意見を聞き、その信頼と期待に応えていこうと努力している」という項目においては肯定的な回答が69.3%であり、昨年度より4.7%下回った。今年度はホームページで積極的に学校での生徒の学習の様子や部活動の様子などを保護者や地域の方に発信してきたが、今後は、より一層学校の教育活動の様子を発信することにより理解を得て、より多くの保護者の方の声に耳を傾け、信頼してもらえるような教育活動を行っていくよう努めていきたい。
------------------	---

4 学校評議員・学校関係者評価委員	○令和7年2月18日（火）豊山中学校ランチルーム学校関係者評価委員会実施 ○本校の教育活動について（学校行事・部活動・施設設備）の説明 ○学校評価アンケート（教職員・生徒・保護者）の結果についての学校としての考察を述べた後、委員の方のご意見をいただいた。 ○教職員のアンケートと保護者のアンケートが乖離しているのは、保護者の要望が大きすぎることが原因なのではないか。また、保護者も学校での活動にもっと参加すれば、学校の魅力に気づくことができるのではないか。 ○挨拶に関しては、よくできていると思う。特に野球部の生徒は、部活動の時間ではないときもしっかりしている。 ○学校と保護者が密に連絡をとることが必要。 ○担任の先生や学年の先生ではなくても、豊山中の先生は気になったら生徒と会話をしていると思う。保護者の中には、学校に連絡することをハードルが高いと感じている人もいると思う。もっとコミュニケーションがとれるようになるとよい。 ○教職員のアンケート結果がよいことはとても重要である。これは教職員が楽しく仕事をしていることの証だと思う。楽しく仕事をしている雰囲気は生徒により影響が出ていると思う。 ○部活動は思い出に残るものである。豊山中の生徒は楽しそうに部活動をしている。今後も部活動をやりたい生徒には部活動をやらせてあげたい。 ○生徒は、本当に行事を楽しんでいると感じる。合唱コンクール前には、歌いながら下校する姿をよく見た。体育大会の生徒会種目も、先生たちが参加し、大変盛り上がっていた。 ○子どもの話を聞くと、発達段階に応じた学級経営をしていることを強く感じる。 ○保護者のアンケート結果にとらわれるのではなく、まずは教師が自信をもつことが大切ある。娘も楽しそうに学校に通っている。行事も盛り上がっている。部活動の運営は大変だろうけど、先生方に感謝している。 ○タブレット端末を授業で活用することは、ビジュアル面で訴えることができ、効果的であると思う。反面、教師の負担が以前よりも増加していないか心配である。個性の尊重を重視して導入された新制服も、生徒の着こなしをみるとこなれてきた印象がある。
----------------------	--

2 次年度の課題・改善策

- 学習指導においては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体化した授業を展開できるよう、授業形態を工夫し、タブレット端末を有効に利用していく必要がある。タブレット端末の効果的な利用について職員も一層の研鑽を積み、生徒が主体的・対話的で深い学びができるよう努力していきたい。
- いじめ対策や生徒の悩みについての相談については、今後も、より一層、教育相談やいじめアンケート、「毎日の記録」でのやりとりなどで生徒の心情の把握に努め、生徒の心に寄り添っていききたい。また、生徒が相談しやすい環境づくりにも努めていききたい。
- 不登校対策として、人間関係作りやコミュニケーション能力を高められるよう、保健指導を中心に計画的に指導をしていきたい。
- 豊かな心を育むため、今年度に引き続き道德教育と週1時間の道德の授業の充実を図っていききたい。また、町内1校の中学校であり、地域の方にも期待されている生徒なので、地域でも、豊中生らしい元気のよい挨拶ができるよう、また、地域で活躍し貢献していこうとする気持ちをもった生徒を育成できるよう指導していきたい。
- 保護者との連携、家庭・地域に根ざした学校づくりに関しては、今年度高い評価をいただいたホームページでの生徒の活動や教育活動の状況の情報発信を、より充実させていききたい。また、地域の方や保護者の方とのコミュニケーションを大切にし、より多くの方に信頼してもらえるような学校を目指していきたい。そして、学校・家庭・地域が共に協力し合って同じ目標をもって生徒を育てていくことができるよう努力していきたい。